

東京大学大学院農学生命科学研究科  
農学国際専攻（国際水産開発学研究室） 特任研究員 公募

1	職名及び人数	特任研究員（特定有期） <span style="float: right;">1 名</span>
2	採用予定日	令和7年11月1日（予定）
3	任期	令和8年10月31日まで 予算の状況、業務の必要性及び勤務成績の評価に基づき令和10年3月31日までを限度として更新する場合があります 更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。
4	勤務地	東京都文京区弥生 1－1－1 弥生キャンパス
5	所属	大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 国際水産開発学研究室 変更の範囲：原則同一部局内
6	業務内容	1) AIを活用した農産物マーケティングに関する研究 2) 農業と健康の関連性に関する農業現場（埼玉県等）におけるフィールドワーク 3) ステークホルダーとのコーディネーション業務 変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある。
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
9	給与	年俸制を適用し、業績・成果手当を含め 月額 250,000 円以上（経験及び能力による）
10	諸手当	通勤手当（支給要件を満たした場合）
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格	1) 博士号取得者（または採用日から半年以内に取得見込の者） 2) 業務に関連した分野（農学、情報科学、経営学など）における研究実績を有することが望ましい。また、業務遂行に向けた意欲をもつこと。 3) 必要に応じて週末に実施されるフィールドワークに対応できること。その場合は、平日に振替休日を取得する。 4) 専攻教員や共同研究員と日本語でコミュニケーションをとり、協調して業務を遂行できること。
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること） <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html</a> 2) 研究業績目録（学位論文、原著論文、著書、総説、その他） 3) 教育業績目録（担当講義科目、非常勤講師等） 4) 社会貢献目録（学会活動、委員会活動等） 5) フィールドにおける研究・教育活動の実績（期間、場所、活動内容） 6) 応募者について意見を伺うことのできる方2名の氏名、所属・職名、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、応募者との関係
14	応募締切	令和7年9月12日（金）必着 ただし、適任者が見つかり次第締め切ることがある。 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。
15	書類送付先及び問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生 1－1－1 東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 国際水産開発学研究室 担当：八木信行 TEL：03-5841-5599 E-mail：yagi[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp （[at]は@に置き換えてください） 上記の提出書類を一つのpdfファイルにまとめ、パスワードを設定した上、E-mailで送付のこと。また、表題には「特任研究員 応募書類」と付けること。
16	特記事項	試用期間あり（採用日から14日間）
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）  採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。